



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 21 日

1. 出張国名 ミャンマー
2. 出張月 平成 26 年 11 月
3. 出張目的 ミャンマーでのワークショップ参加・統計収集：D

4. 成果の概要

ミャンマー国イエジン市の農業・灌漑省農業研究局で 11 月 5 日に開催されたセミナー、**Identifying Subjects for Collaborative Research between Myanmar and JIRCAS: Achievement and Challenges of Agricultural Research** (日緬農業共同研究の可能性－JIRCAS とミャンマーの農業研究活動紹介)に参加し、報告した。

出張者は、**Impacts of Climate Change on Rice Supply and Demand in Asia** (アジアにおけるコメ需給に対する気候変動の影響)と題する報告を行った。

まず、気温に対する収量変化のパラメータを作物モデルから計算し、2050 年までの気候変動のコメ収量に及ぼす影響をインドとミャンマーを対象に示した。

次に、世界食料モデルのプロトタイプを用いて、気候変動が両国のコメ消費に及ぼす影響を示した。最後に、気候変動の地域別の分析が可能なコメ需給モデルの開発についてミャンマー側との共同研究の可能性を提示した。

11 月 6 日には、理事長、戦略室長らと共に北部乾燥地の農業試験場の研究者と農民に対して、野菜作、果樹作導入の可能性、灌漑施設の整備状況、農産物価格の動向などについてヒアリングを行った。また、11 月 4 日にはネーピードー市の中央統計局、11 月 7 日にはヤンゴン市の国連情報センターにおいて統計の収集を行った。